



(地域のシンボル)

あなたと行政を結ぶ

都祁まち だより

都祁まちづくり協議会会報

都祁まちづくり協議会

〒632-0292 奈良市都祁白石町1026番地の1
奈良市都祁行政センター内
TEL (0743) 82-0201(代)

奈良市のシンボル



奈良市の木
イチイガシ



奈良市の花
ナラノヤエザクラ



奈良市の鳥
ウグイス

(都祁地域シンボル)



地域推奨の木
つげ



地域推奨の花
スズラン



ウグイス

令和5年 春発行

Vol.22

新たな 地域発信に 向けて!



農業体験交流事業（奈良県立山辺高等学校に於いて）

ごあいさつ



都祁まちづくり協議会

会長 向井 敏之

平素より都祁まちづくり協議会の事業に深いご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、新市建設計画の見守り役として新市の発展に寄与する協議団体として、更には合併特例法による地域審議会に替る協議会として設置された都祁まちづくり協議会が発足し17年目になりました。

これまでのまちづくり協議会の活動内容の重点事項は、ハード面の整備が基調であったように思いますが、これからは、ソフト面も含んだ「地域の魅力や活力を高めること」が必要だと感じています。

都祁地域の魅力や資源を掘り起こし、発信し、認知を高め、都祁に興味を持ってもらうため、地域

の皆さまと連携や協力をし合って、空間や環境の整備、ルール作り、イベントや生業の整備、人と人とのコミュニケーションづくりなど、豊かな生活をするうえで必要な整備を推進していきたいと思っています。

都祁地域は、名阪国道と国道369号線が交差する針インターに隣接する「針テラス」もあり交通の要衝でもあります。いろんな地域の人が行き交う場所です。最大の地域資源を活用しながら、地域住民一丸となってこれからの「まちづくり」を一緒に進めていきたいと考えております。

皆さまのご協力をよろしくお願い致します。



新市建設計画他県・市要望

本会では、合併以来新市建設計画の早期完了を目指し、例年県・市へ要望を行っております。本年度は令和4年8月18日に市、令和4年10月19日に県へ対し、向井会長、福西副会長、植田副会長、北相談役、そして都祁行政センターとともに要望して参りました。

	要 望 事 項	要望	回 答
市 要 望	1. 一本松小倉線道路新設事業実施	早期実施	令和4年度当初ルートで測量詳細設計業務発注済。令和5年度秋以降で用地確定作業の委託発注予定。
	2. 新規優良企業誘致事業	積極的な取組	関係部署と連携しながら進めていきたい。
	3. コミュニティバス導入事業	継続	前年度同様の予算要求をしている。
	4. まちづくりに関する補助金について	継続	前年度同様の予算要求をしている。
	5. のぼりを線改良事業	早期完了	令和4年度繰越工事実施中、令和5年7月中旬竣工予定。令和5年度継続工事発注予定。
	6. 合併記念公園建設事業の区域に所在する水路について	早期完了	地元と調整しながら、順次進めていく。
県 要 望	1. 大和高原工業団地開発計画の推進	早期推進	都祁地域の特性に応じた企業の誘致を行いたい。
	2. 国道25号改良事業	早期完了	小倉地区については、令和3年度より工事着手。針地区については、底地の整理後、取り掛かる予定。
	3. 県道奈良名張線改良事業	早期完了	令和3年度より、東紀寺町三丁目交差点東向き道路北側の側溝暗渠化による道路拡幅を進めているが、引き続き地権者の協力をお願いする。

令和4年度「いきいきスポーツinつげ高原」

自然豊かな都祁高原で、各種スポーツを通じて、参加者の交流を深め、生涯スポーツ推進に取り組む都祁を発信し、都祁の地域振興を図ることを目的として、「グラウンドゴルフ大会」「奈良市学童軟式野球10月大会併催学童軟式野球体験会」「サッカークリニック」「軽スポーツ大会」開催しました。

第1弾「グラウンドゴルフ大会」



第2弾「学童軟式野球体験会」



第3弾「サッカークリニック」



第4弾「軽スポーツ大会」



キンボール



ボッチャ



フロアカーリング

新たな 地域発信の取組み

1. 都祁地域発信

都祁高原マラソン大会は、毎回参加者が1400名を超え、その半数以上が県外からの参加であり、都祁を全国に広く発信した大きな事業でした。

全国的に少子高齢化・人口減少が進む社会現象の中で、各地域では様々な工夫をし、地域発信に取り組まれています。

都祁地域でも、今後、都祁高原マラソン大会のような地域発信事業が必要ではないでしょうか。

スポーツに限らず、都祁の魅力発信について、皆様からもどんどんご提案頂き、私たち地域住民が一丸となり取り組んでいくことが大切だと考えています。

2. 生涯スポーツの推進

旧都祁村では、生涯スポーツ宣言の村として、スポーツ振興に取り組んでいました。

合併後も都祁スポーツ協会や、各スポーツクラブ等、引き続き活

動を継続しておられます。

また都祁地域には、奈良市都祁体育館・奈良市都祁生涯スポーツセンター（球技場・テニスコート等）、ボスコヴィラ（サッカー場・グラウンドゴルフコート）があり、スポーツ施設は充実しています。

こうした恵まれた環境を活かし活動されている人たちと共に、都祁地域の発信に取り組むことも大切だと考えています。

3. 「いきいきスポーツinつげ高原」

令和4年度事業として、サッカークリニック、グラウンド・ゴルフ大会、学童軟式野球大会（野球体験会）、軽スポーツ大会を、年間通して「いきいきスポーツinつげ高原」と称し、開催しました。

今後、市民だより等によりご案内しますので、都祁地域皆さんで盛り上げていきましょう



交通環境を考える意見 交換会を開催！

都祁地域内は公共交通機関が充実しておらず、新市建設計画により地域内のみコミュニティバスを運行していますが、地域住民の要望を広くカバーできていない状況です。

また、多くの家庭では、移動手段のほとんどが自家用車に頼っています。近年、都祁地域でも高齢者の自動車事故が多発し、社会問題となっています。今後、益々高齢化が進む状況において地域住民の移動手段について、対策検討を進めなければいけません。

令和3年度に都祁行政センターが実施したコミュニティバスについてのアンケート調査結果では、回答者の84%が「車が運転できなくなった時、コミュニティバスを利用したい」ということが分かりました。

こうした状況を踏まえ、地域が実際に求める交通環境について協議する場を設ける必要があると考え、都祁まちづくり協議会が中心となり、都祁小学校長、都祁中学校長、小・中学校PTA代表、都祁地区民生委員会、都祁福祉センター所長、都祁行政センター所

長のメンバーで、令和4年3月23日に第1回目の都祁地域の交通環境を考える意見交換会を行いました。

今後も継続して開催し、地域交通環境の充実に向けた取組を行います。

編集後記

新型コロナウイルス発生から3年余り、ようやく5月から感染症法上の分類が5類に引き下げられます。この間、様々な社会経済活動の制限により、伝統ある行事さえ縮小、中止を余儀なくされるなど、地域活動に大きな影響を及ぼしています。

40回もの開催を重ねたマラソン大会も例外ではなく、3年間の中止の後、再開を断念せざるを得ない状況となりました。

また、奈良市との合併からもうすぐ20年の節目を迎える今、その先を見据えた都祁のまちづくり、魅力発信を考える必要があります。

アフターコロナの地域のつながりも含め、まち協の役割として考えなければなりません。皆様のご協力よろしく申し上げます。

都祁まちだより 編集委員